

議長定例記者会見（平成28年8月定例会閉会后） 概要

日 時：平成28年9月30日(金)
午後5時00分～午後5時18分
会 場：議会第1会議室
出席者：福井章司議長、武藤恭博副議長

○議長からの発表

1 平成28年8月定例会の総括

(1) 一般質問について

今回は26名の議員が登壇した。（議員1人当たりの質問時間＝平均52分強）
質問の中で、事前のヒアリングで執行部との間でずれがあり、質問に対する的確な答弁ができていない事例があった。

また、一般質問のテーマの選定という面で個人差を感じている。質問項目については、市民の声を十二分に受け止めて、それに自分の意見・質問を加えていくようなやり方が必要であると考えている。特に必要と感じた場合、本人にそうした捉え方について伝えるようにしている。

(2) 常任委員会の審査について

今回は、まず会期冒頭に、決算議案審査のための常任委員会を1週間強をかけて開催し、4常任委員会とも附帯決議を出した。この附帯決議は、決議案として本会議において全会一致で可決し、定例会閉会后、直ちに市長に手渡すとともに、しっかりと次年度の予算編成時に対応していただきたい旨を申し伝えた。

決算議案以外の議案審査については、委員長による口頭報告は文教福祉委員長のみであったが、その中の大きな内容としては、県立病院好生館跡地に移転予定の休日夜間こども診療所に関する議論であった。この問題については、急遽、別施設との合築という案が示されたところであるが、中間の報告がなかったことに対する疑念やメリット・デメリットの示し方が不十分であること、市医師会との協議をもっと主体性を持って行うべきであるということなど、さまざまな意見が委員の中から出て、結果として可決とはなったが、附帯決議が付された。

(3) 全員協議会について

定例会閉会后に行われた全員協議会において、市長から、佐賀駅周辺整備における複合施設へのコンベンション施設の設置は見送る旨の報告が行われたが、議会全体の雰囲気としては、今後の推移を見守るような方向性であった。

(4) 佐賀市議会の今後の予定について

①次回定例会：11月30日（水）開会予定

②議員研修会：11月21日（月）午後（時間は調整中）

研修テーマ：住民自治を進める議会改革（仮題）

講師：山梨学院大学教授

江藤俊昭氏

③タブレット端末の配付及び研修について

10月中にタブレット端末を全議員に配付し、操作研修を実施する予定。

○記者との主な質疑応答

【問】市役所の駐車場について、議会の会期中に混雑しやすい状況になっていると思うが、議会として何か対応を検討しているのか。

【議長】今定例会の一般質問での執行部の答弁では、会期中だから混雑するというわけではなく、マイナンバーや福祉関係の各種申請等の手続関係が重なったために駐車場が足りなくなったということであった。答弁にもあったように、足りない部分については民間駐車場の借用で対応するような方向でもあるので、議会として自粛するというような議論にはなっていない。

【問】コンベンション施設について、今後の推移を見守るということだが、全員協議会をどれくらいの頻度で開催し、計画の推移、進捗を見ていきたいという考えはあるのか。

【議長】今回の件は一般質問でも出ていたが、全体の経緯を説明するために市長からの要請があり、今回は全員協議会を開催することとなった。今後については、少し時間をおきたいという発言もあっているので、全員協議会をいつ開催するという事までは言えない。状況によっては、必ずしも全員協議会ではなく、所管の総務委員会への説明や一般質問への答弁という形もあり得る。

【問】全員協議会の中では、今回の複合施設へのコンベンション施設設置の見送りについて、市長公約の責任を問う声は上がらなかったが、それをどう見ているのか。

【議長】コンベンション施設自体をあきらめたという表現ではなかったなので、施設そのものについての考え方を再度整理して新たな方向性が出てくるという認識で様子を見ようということになったと認識している。